

い
ず
み
さ
の
教
育



問合先
学校教育課

卒業式の意義

卒業式が近づいてきました。本市は中学校が3月12日(金)、小学校が22日(月)に挙行予定です。今年度は、コロナ禍による臨時休校が5月末まで続き、マスク着用、手指消毒の徹底、夏季休業の短縮など、誰も経験したことのないコロナ対策に終始した1年でした。

学校は、子どもたちを中心に、家庭・地域と連携し、一丸となって学習や行事などの教育活動を進めてきました。そんな中で行われる今年度の卒業式は、多くの困難を乗り越えて迎える大きな節目といえます。

卒業式は、学習指導要領(平成29年文部科学省告示)において、特別活動(学校行事)の中で「儀式的行事」に位置付けられています。

また、儀式的行事の内容として「学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること」と示されています。

では、卒業式は何をねらいに行うのでしょうか。学校によりねらいは様々ですが、卒業生に対しては、「卒業の喜びと感動を味わわせる」「将来への夢・希望や自覚をもたせる」「学校・家庭・地域の人に感謝の気持ちをもたせる」などが考えられます。

また、在校生に対しては、「次の最高学年としての自覚をもたせる」「学校の伝統を引き継がせる」などが考えられます。さらに、式自体の「礼儀正しさと規律ある態度を育てる」ねらいなども考えられます。

コロナ禍による制約がある中でも、各学校は、様々なねらいをもった意義ある卒業式を行う予定です。式への参列の有無に関わらず、学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちの成長をお祝いしていただければ幸いです。

今後も引き続き、子どもたちをあたたく見守ってくださいますよう、お願いします。

学校園紹介



活気あふれる学校をめざして
～佐野中学校～

佐野中学校では、子どもたちの自主的な活動の一つとして、生徒会活動を活発に行っています。執行部のほか7つの委員会があり、よりよい学校をめざして活動しています。今回は、生徒会執行部と生活委員会の活動の一部を紹介します。



【生徒会執行部】 コロナ禍の中、この地域の感染症患者の受け入れの最前線で頑張ってくれている、りんくう総合医療センターのみなさんに応援メッセージを送ろうと、執行部より全校生徒に呼び掛けました。一人ひとりがハート形のカードにメッセージを書き、「世界のためにありがとう」の言葉のまわりにカードを貼り付け横断幕を作成し届けました。医療センターの職員のみさんから、「この横断幕を見て、またがんばる気持ちが出てくるでしょう」とお礼の言葉をいただきました。

【生活委員会】 生活委員会では、みんなが気持ちよく学校生活をスタートできるように、登校時に校門であいさつ運動を行っています。時には、生徒会執行部も参加して、一緒にあいさつ運動を行います。また、土曜授業がある日には、青少年指導員、PTAのみなさんも一緒にあいさつ運動を行っています。自らあいさつする子どもたちも増え、活気ある登校風景となっています。



小中英語連携
～長南小学校～



昨年4月より施行の新学習指導要領により、外国語科の授業が5・6年生の教育課程に位置づけられ本格的に取組が始まりました。

長南中学校の英語教員(小中連携教科指導加配)とALT、5・6年生の学級担任の3人体制で外国語科の授業を行っています。「英語を学び、使えるようになる」その楽しさを伝えることを目標に、授業はほぼオールイングリッシュで展開しています。

子どもたちも英語を聞き慣れてきたようで、以前は、英語がわからず子どもが困った表情をしていると、教員が日本語での解説をすることが多くありましたが、最近はそういったシーンも、徐々に減ってきています。

小中一貫教育をめざす小中連携の取組の一環でもあり、その他の連携についても進めています。小・中学校で合同の「めざす子ども像」を策定し9年間を見通した教育計画を作成し、子どもたちの成長のために遂行していきます。

